

重点プラン対象施策以外の外部評価結果

1 外部評価結果一覧

重点プラン対象施策以外の外部評価結果は、以下のとおりです。

(1) 安全部会

	施策名	点数	評価結果	頁
2	交通の利便性を生かした産業拠点の整備	70/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	2
3	良好な景観形成の推進	61/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	2
4	良好な居住環境の形成	75/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	3
5	安心して暮らせるまちづくりの推進	66/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	3
7	交通安全対策の推進	75/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	4
11	安全な水の安定供給	94/108	適正な評価が行われている	4
49	地域と連携した防犯対策の推進	78/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	5
51	コミュニティ施設の整備	68/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	5
56	湧水・緑地の保全と再生	78/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	6
57	水環境の保全	70/108	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	6

(2) 安心部会

	施策名	点数	評価結果	頁
14	確かな学力の育成を目指した教育の推進	69/96	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	7
16	よりよく適応するための支援体制づくりの推進	70/96	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	7
18	安全でおいしい学校給食の充実	73/96	適正な評価が行われている	8
19	安全な学校教育環境の整備	62/72	適正な評価が行われている	8
21	幼児教育の機会の支援	48/72	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	9
33	安心して楽しい育児の推進	51/72	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	9
34	地域における健やかな子育ての実現	54/72	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	10
35	子育て家庭への経済的支援	62/84	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	10
39	チャレンジが安心できる障害福祉の推進	62/84	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	11
41	低所得者の生活の安定と自律への支援	52/84	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている	11

合計点の満点及び評価結果区分については、評価参加者数によって変動しています。

2 外部評価結果

(1) 安全部会

ア 第 4 回会議 (評価日：平成 24 年 9 月 28 日)

(ア) 施策 2 交通の利便性を生かした産業拠点の整備

評価点数 (合計) 70 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

現在の業務代行方式については、リスクがあるという認識のもと、事業費の適正な管理が必要である。また、新産業の創出等について、和光市にふさわしい誘致に努める必要がある。

(イ) 施策 3 良好な景観形成の推進

評価点数 (合計) 61 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

良好な景観形成のためには、短期、中期、長期の計画、実施計画が必要である。

(ウ) 施策 4 良好な居住環境の形成評価点数(合計) 75 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

区画整理という土地の整備を行っただけでは不十分である。都市計画等を含め、目指すべきまちづくりを明確にし、取組んでいく必要がある。

イ 第 5 回会議 (評価日: 平成 24 年 11 月 5 日)**(ア) 施策 5 安心して暮らせるまちづくりの推進**評価点数(合計) 66 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

本施策の本来の目的を達成するためには、まちづくりの方向として、都市計画マスタープラン、用途変更、グリーンベルトをつくるなどの関係を含めた全体的な見直しが必要であり、かつ、協働のまちづくりの方向に進んでいくことが必要である。

(イ) 施策 7 交通安全対策の推進評価点数(合計) 75 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

交通事故の内容、種別の調査・分析を行った上で、適切な整備を行うこと。また、自転車駐輪場の整備については、放置自転車の現状を調査した上で、対策を進めてほしい。

(ウ) 施策 1 1 安全な水の安定供給評価点数(合計) 94 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

供給量と需要量を適切に管理すること。また、大規模のメリットを生かし、広域における他自治体との連携による経営効率化を検討すること。総合振興計画と水道ビジョンの人口推計における整合性を確保すること。

(エ) 施策 4 9 地域と連携した防犯対策の推進評価点数(合計) 78 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

市内発生 of 犯罪について、種類と内容を分析し、具体的な事例をもとに、必要な対策を進めること。地域防犯リーダーの積極的な活用を図ること。また、地域防犯リーダーや民生委員が集まる機会を作り、情報交換をすることで、コミュニティを強化し、防犯対策を進めること。

ウ 第 6 回会議 (評価日: 平成 2 4 年 1 2 月 2 0 日)**(ア) 施策 5 1 コミュニティ施設の整備**評価点数(合計) 68 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

幅広い市民の方が使えるように、利用しやすい規定にすること。また、より地域の活性化を担う施設としての整備(改造・修繕)をすること。

(イ) 施策 5 6 湧水・緑地の保全と再生評価点数(合計) 78 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

税制対策を幅広く検討し、保全に努めること。

(ウ) 施策 5 7 水環境の保全評価点数(合計) 70 点

評価結果

	合計点数(評価者 9 人)	評価結果
	82 ~ 108 点	適正な評価が行われている
	55 ~ 81 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	28 ~ 54 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 27 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

河川の水質環境基準と生活用水の水質環境基準を区別して、実態に合うように本市の水質基準の目標値の見直しをする必要がある。また、下水道未整備の区域においては、河川をきれいにする目的のため、下水道整備を急がれたい。

(2) 安心部会

ア 第 4 回会議 (評価日:平成 24 年 9 月 28 日)

(ア) 施策 14 確かな学力の育成を目指した教育の推進

評価点数 (合計) 69 点

評価結果

	合計点数(評価者 8 人)	評価結果
	73~96 点	適正な評価が行われている
	49~72 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	25~48 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0~24 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

図書館アドバイザーの日数を確保すること。また、学習教室参加人数については、平成 27 年度の目標値を捉えた単年度目標の設定が必要である。

(イ) 施策 16 よりよく適応するための支援体制づくりの推進

評価点数 (合計) 70 点

評価結果

	合計点数(評価者 8 人)	評価結果
	73~96 点	適正な評価が行われている
	49~72 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	25~48 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0~24 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

施策指標である「相談件数」については、教育支援センターにおける相談件数のみではなく、各学校における支援件数を含めた件数を指標とするべきである。

また、今後の方向性について、現在の水準が高いとしてもサービス水準を下げるという方向性は妥当ではなく、最低限現状維持または向上を目指すべきである。

(ウ) 施策18 安全でおいしい学校給食の充実評価点数(合計) 73 点

評価結果

	合計点数(評価者8人)	評価結果
	73~96点	適正な評価が行われている
	49~72点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	25~48点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0~24点	適正な評価が行われていない

部会の意見

地産地消については継続して積極的に進め、放射能対策についてどのような取組を行って今後はどうしていくのかを明確にすること。

また、施設整備及び改修については長期的な計画の中で実施していくべきである。なお、財政的な理由から先送り、凍結となっている事項について、早急な解決、見直しが必要である。

イ 第5回会議(評価日:平成24年11月5日)**(ア) 施策19 安全な学校教育環境の整備**評価点数(合計) 62 点

評価結果

	合計点数(評価者6人)	評価結果
	55~72点	適正な評価が行われている
	37~54点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	19~36点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0~18点	適正な評価が行われていない

部会の意見

厳しい財政状況の中で、指標目標に向けて進められていると評価できるが、地域の協力の進捗状況が把握できる指標を設定すること。

また、地域の協力の力をどのように活用していくのかというところを明確にすること。立哨指導体制については、和光市の道路状況を考慮して、体制をしっかりと構築すること。

(イ) 施策 2 1 幼児教育の機会の支援評価点数(合計) 48 点

評価結果

	合計点数(評価者 6 人)	評価結果
	55 ~ 72 点	適正な評価が行われている
	37 ~ 54 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	19 ~ 36 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 18 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

幼稚園就園奨励補助だけではなく、幼児教育の機会の提供という視点から、市立幼稚園や子ども園の導入について検討する必要がある。

(ウ) 施策 3 3 安心して楽しい育児の推進評価点数(合計) 51 点

評価結果

	合計点数(評価者 6 人)	評価結果
	55 ~ 72 点	適正な評価が行われている
	37 ~ 54 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	19 ~ 36 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 18 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

子育てが楽しいと感じる市民の割合について、実績値を把握して、各取組に生かすべきである。

(工) 施策 3 4 地域における健やかな子育ての実現評価点数(合計) 54 点

評価結果

	合計点数(評価者 6 人)	評価結果
	55 ~ 72 点	適正な評価が行われている
	37 ~ 54 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	19 ~ 36 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 18 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

中高生の居場所づくりについて、青少年問題協議会と連携して、更なる取組の推進、充実を図ること。

ウ 第 6 回会議 (評価日: 平成 2 4 年 1 2 月 1 7 日)**(ア) 施策 3 5 子育て家庭への経済的支援**評価点数(合計) 62 点

評価結果

	合計点数(評価者 7 人)	評価結果
	64 ~ 84 点	適正な評価が行われている
	43 ~ 63 点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	22 ~ 42 点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0 ~ 21 点	適正な評価が行われていない

部会の意見

父子家庭への支援も講じること。また、施策指標に父子家庭を対象とした指標を加えていく必要がある。

(イ) 施策39 チャレンジドが安心できる障害福祉の推進評価点数(合計) 62点

評価結果

	合計点数(評価者7人)	評価結果
	64～84点	適正な評価が行われている
	43～63点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	22～42点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0～21点	適正な評価が行われていない

部会の意見

なし

(ウ) 施策41 低所得者の生活の安定と自立への支援評価点数(合計) 52点

評価結果

	合計点数(評価者7人)	評価結果
	64～84点	適正な評価が行われている
	43～63点	妥当ではない部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われている
	22～42点	妥当な部分はあるが、どちらかというに適正な評価が行われていない
	0～21点	適正な評価が行われていない

部会の意見

福祉専門職員の採用の実施をするなど、自立に向けた就労支援の体制の充実を図っていただきたい。また、ふるさとハローワーク設置を契機に他部署との連携を進めてほしい。